



平成29年6月期企業動向アンケート調査(第89回) ～前期比やや改善、来期は今期比ほぼ横ばいの見込み～

- アンケート回答企業の今期（4～6月期）の業況判断D I（全体）は「+1」と、前期比3 P改善した。来期（7～9月期）の見通しは「0」と今期比ほぼ横ばいの見込み。
- 業種別では、製造業と卸小売業が前期比改善し、建設業は、年度初めの受注減で大幅悪化した。来期は、卸小売業とサービス業で業況が今期比悪化し、建設業は、公共工事の受注等でプラスに転ずる見込み。
- 資金繰りD Iは、全体で前期比横ばい、業種別ではサービス業が「+19」から「+11」に悪化した。設備・店舗等D Iは、全体で「不足」の幅が前期比やや拡大し、業種別ではサービス業で大幅に悪化した。雇用者数D Iは、全体で「不足」の幅が前期比拡大し、業種別でも、全ての業種で不足感が依然強い。
- 今年の夏季賞与支給（見込み）総額は前年比「横ばい」が最も多く、1人あたりの平均支給倍率は1.48倍、平均支給額は30万円であった。
- 平成28年度の従業員採用数は、全体で1,490人、うち、県内出身者は1,125人、外国人が32人であった。業種別では、製造業が553人（うち、県内出身者401人、外国人25人）と最も多い。採用者の履歴では、「中途採用」が868人（うち、県内出身者661人、外国人19人）と最も多かった。

＜全般的業況判断D Iの動き＞

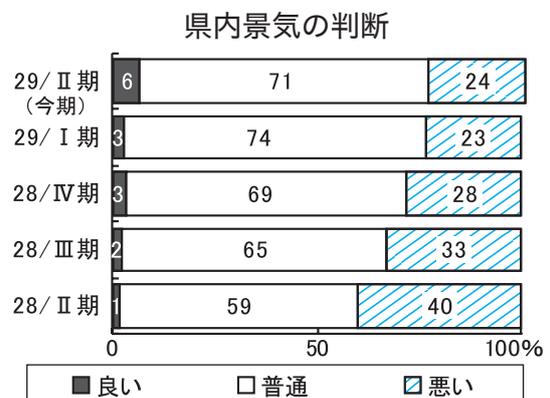
業種	D I		
	前期	今期	来期見通し
全体	▲2	1	0
製造業	▲19	4	4
建設業	14	▲6	6
卸小売業	▲1	4	▲7
サービス業	6	0	▲5

○ 現在の県内景気をどう見えていますか？

＜「普通」が71%＞

県内景気の判断は「普通（71%）」が前期比3 P縮小し、「良い（6%）」は3 P拡大した。

今期の回答企業の業況判断D Iが前期比改善し、来期もマイナスにならない見込みで推移することから、県内景気の判断にも改善傾向がうかがえる。



—アンケート調査の概要—

実施期間：平成 29 年 6 月 1 日～ 6 月 16 日

対 象 先：県内に本社または支店等を有する企業（600 社）

内 容：①景況判断

②自社の業況

③平成 29 年夏季賞与支給状況について

④平成 28 年度の従業員採用数について

調査方法：郵送によるアンケート

回収状況：回答企業 313 社（回答率 52.2%）

※本調査は、当所と宮崎県が共同で実施し、調査結果は県政にも活用されることになります。

<回答企業内訳>

		業 種				資 本 金		
		製造業	建設業	卸小売業	サービス業	3千万円未満	1億円未満	1億円以上
企業総数	313 100.0%	100 32.5%	63 20.5%	90 29.2%	55 17.9%	149 52.3%	105 36.8%	31 10.9%
県 央	142 46.1%	29	25	49	39	72	46	13
県 北	75 24.4%	25	20	23	7	31	30	8
県 南 西	91 29.5%	46	18	18	9	46	29	10

注) 業種、資本金、所在地の未記入企業があり、総数と一致していない。下段は企業構成比率。

<所在地区分>

県 央：宮崎市、西都市、東諸県郡、児湯郡

県 北：延岡市、日向市、東臼杵郡、西臼杵郡

県南西：都城市、小林市、えびの市、日南市、串間市、北諸県郡、西諸県郡

<業種区分>

サービス業には、製造、建設、卸小売業以外の業種を含む

<文中の用語>

前期：平成 29 年 3 月調査

今期：平成 29 年 6 月調査

来期：平成 29 年 9 月調査

I 期：1～3月、II 期：4～6月

III 期：7～9月、IV 期：10～12月

DI (Diffusion Index)

「好転・増加・過剰」の回答割合(%)－「悪化・減少・不足」の回答割合(%)＝DIで、景気動向を判断する指標のひとつ。

P：ポイント

1. 全般的業況判断

(前期比)

(表1、図1)

<改善>

今期の全体における全般的業況DI(「好転」-「悪化」)は「+1(前期比3P改善)」で2期ぶりのプラスとなった。

業種別は、製造業、卸小売業でDIが改善、建設業は悪化し、サービス業は改善の幅が縮小した。

従業員別は「100～199人」が「+12」と、前期比19P改善しプラスに転じた。

企業規模別は「1億円以上」が「+13」と、前期比34P改善した。

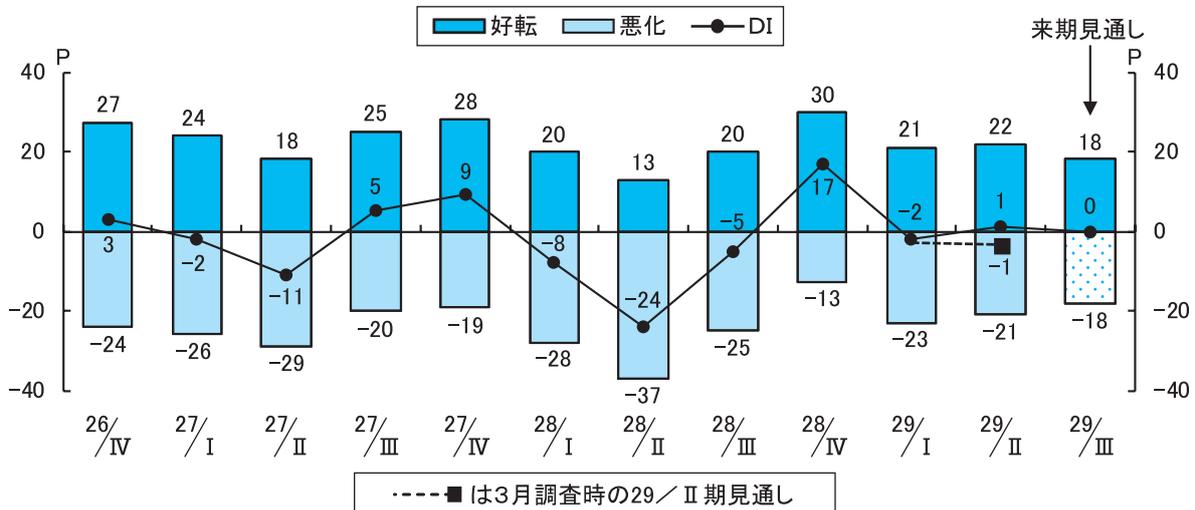
表1. 今期の全般的業況(業種別・規模別)

単位：%、ポイント

項目	業況	好転(A)	悪化(B)	今期DI(A)-(B)	前期DI
全 体 (313)		22	21	1	▲ 2
業 種	製 造 業 (102)	25	21	4	▲ 19
	建 設 業 (65)	14	20	▲ 6	14
	卸 小 売 業 (91)	29	25	4	▲ 1
	サ ー ビ ス 業 (55)	18	18	0	6
従 業 員	50人未満(167)	22	23	▲ 1	0
	50～99人(63)	19	22	▲ 3	▲ 12
	100～199人(33)	27	15	12	▲ 7
	200人以上(39)	23	21	2	0
資 本 金	3千万円未満(151)	25	25	0	▲ 6
	1億円未満(107)	19	16	3	5
	1億円以上(31)	32	19	13	▲ 21

不明分は除く、()は回答企業数

図1. 全般的業況のDI推移



2. 業種別DI

業況(前期比)、売上・利益(前年同期比)

○製造業(図2、次頁表2)

前期比大幅改善

今期の全般的業況DIは、前期比23P改善して「+4」となった。

分野別では、「機械器具」「電気電子部品」の分野で、「機械設備の受注」「半導体、自動車部品関連の受注が増加」など「好転」の回答が増えた。

来期は、「受注増による増産」や「新製品の開発」等により、DIは「+4」と横ばいの見込み。

図2. 製造業DI

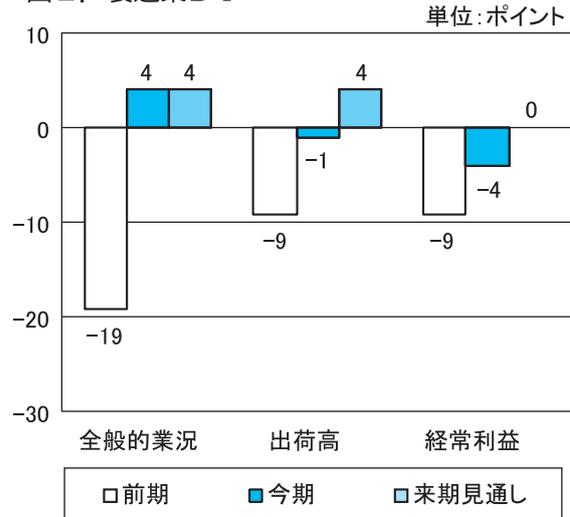


表2. 製造業9分野における業況D I

単位：％、ポイント

業種	好転	不変	悪化	今期DI	前期DI
食料品・飲料	27	43	30	▲ 3	▲ 26
繊維製品	13	62	25	▲ 12	0
木材木製品	13	62	25	▲ 12	▲ 22
化学製品	0	100	0	0	0
窯業土石	40	20	40	0	▲ 20
機械器具	40	60	0	40	▲ 12
金属製品	38	50	12	26	0
電気電子部品	50	50	0	50	0
その他製造業	23	65	12	11	▲ 26

○建設業 (図3)

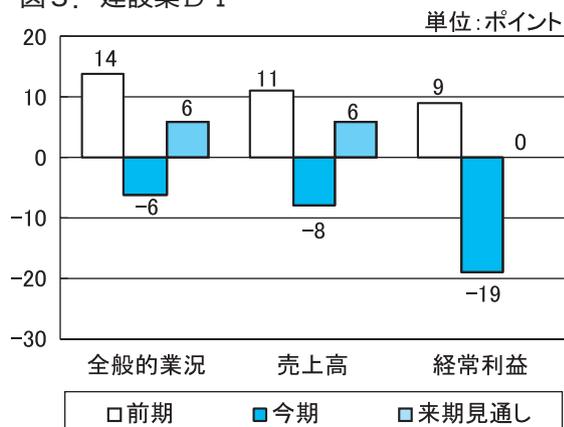
前期比大幅悪化

今期の全般的業況D Iは、前期比20P悪化して、「▲6」となった。

住宅等のリフォームや、民間の設備投資で「好転」の回答が一部にあるものの、年度初めによる公共工事の受注減少等で、大幅に悪化した。

来期は、「今後の受注の見通しが不透明」等「悪化」の回答があるものの、「公共工事の増加」「改修工事等大型案件を受注」等「好転」の回答が上回り、D Iは「+6」の見込み。

図3. 建設業D I



○卸小売業 (図4)

今期は「+4」に改善

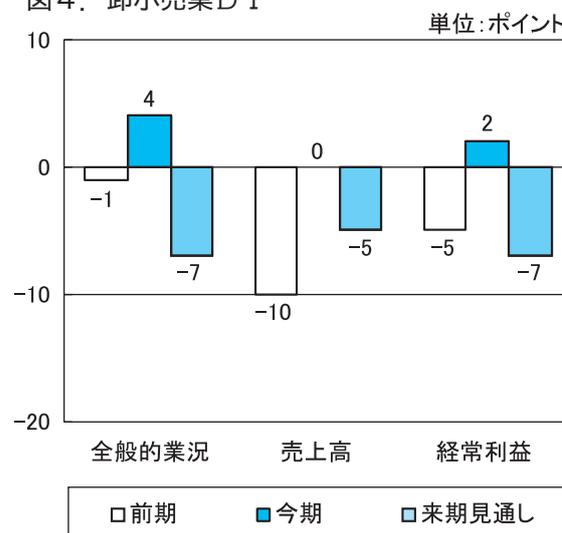
今期の全般的業況D Iは「+4」と、

前期比5P改善した。

「ガス・燃油の売上が減少」など季節的要因から「悪化」の回答は一部にあるものの、「酒税法改正により酒販の利益率が改善」「新商品の販売」などで、「好転」の回答が多かった。

来期は、「中元商戦」などから一部に「好転」の回答があるが、「特売で利益が減少」「仕入れ単価の上昇」「燃油販売量の減少」などで「悪化」を見込む回答が増え、D Iは「▲7」の見込み。

図4. 卸小売業D I



○サービス業 (次頁図5)

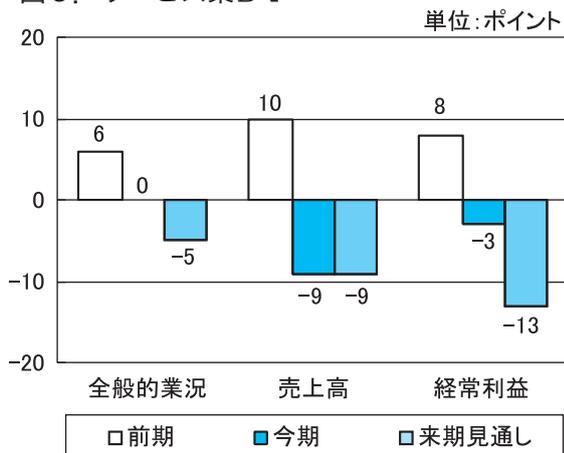
前期比悪化

今期の全般的業況D Iは「0」と、前期比6P悪化した。

「前年並みの受注あり」「燃油価格の上昇」「結婚披露宴組数の減少」など、「不変」「悪化」の回答が増えた。

来期は「夏休みの需要増」「新たな顧客の開拓」等「好転」の回答があるものの、「競争の激化」「来客数の減少」等「悪化」も多く、D Iは「▲5」の見込み。

図5. サービス業D I



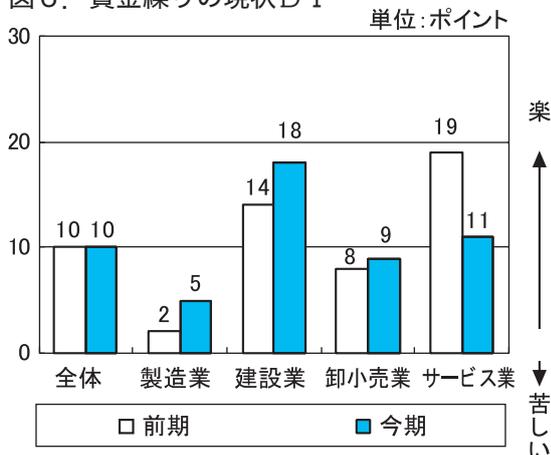
3. 資金繰りの現状 (図6)

全体の資金繰りは横ばい

資金繰りの現状D I (「楽」-「苦しい」)は、「全体」で「+ 10」と前期比横ばいであった。

業種別は、製造業、建設業、卸小売業は前期比改善し、サービス業は悪化した。

図6. 資金繰りの現状D I



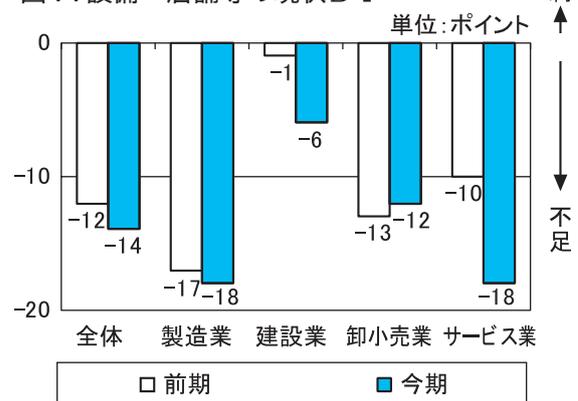
4. 設備・店舗等の現状 (図7)

全体の現状は、やや悪化

設備・店舗等の現状D Iは「全体」で「▲ 14」と、前期比2 P悪化した。

業種別では、サービス業は「▲ 18」と前期比8 P悪化し、建設業「▲ 6 P」も同5 P悪化した。

図7. 設備・店舗等の現状D I



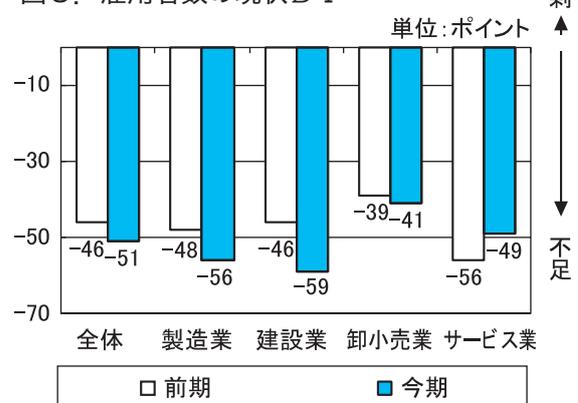
5. 雇用者数の現状 (図8)

全体は、不足幅が拡大

雇用者数の現状D Iは、「全体」で前期比5 P悪化して「▲ 51」となった。

サービス業は「▲ 49」と、不足の幅が7 P縮小したが、全業種で不足感が依然強い。

図8. 雇用者数の現状D I



6. 平成29年夏季賞与支給状況

(次頁図9、表3)

前年比「横ばい」が最多

平成29年夏季賞与支給(見込み)総額は、全体で前年比「横ばい(61.4%)」が最も多く、業種別では、サービス業の66.7%が「横ばい」と回答した。

1人当たりの支給(見込み)額の平均は、全体の倍率が「1.48倍」、支給額が「30万円」となった。

図9. 平成29年夏季賞与支給（見込み）総額（前年比）

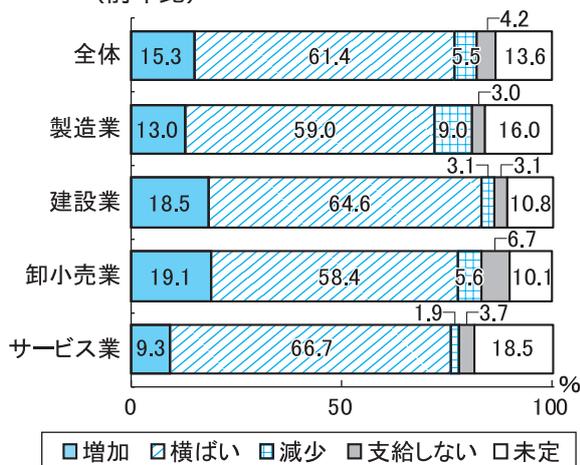


表3. 平成29年夏季賞与支給（見込み）1人あたり平均支給状況

単位：倍、万円

業種	賞与	倍率		支給額	
		H28年	H29年	H28年	H29年
全体		1.47	1.48	29	30
製造業		1.47	1.40	28	28
建設業		1.45	1.54	33	34
卸小売業		1.53	1.63	30	30
サービス業		1.39	1.34	27	27

（「支給なし」「未定」「不明分」を除いた企業(216社)の平均値）

7. 平成28年度の採用者数(表4、図10)

「中途採用」が最多

平成28年度の採用者数は、全体で1,501人、「うち、県内」が1,125人（構成比75.0%）、外国人は32人（同2.1%）となった。

業種別では、製造業（554人）が最も多く、サービス業（480人）と続いた。「うち、県内」の採用者数は各業種で7～8割を占めた。

履歴別では、「中途採用」が876人と最も多く、「高校卒（371人）」と続いた。「うち、県内」の人数は「中途採用」が661人（構成比75.5%）で、即戦力の県内出身者を採用する傾向にある。

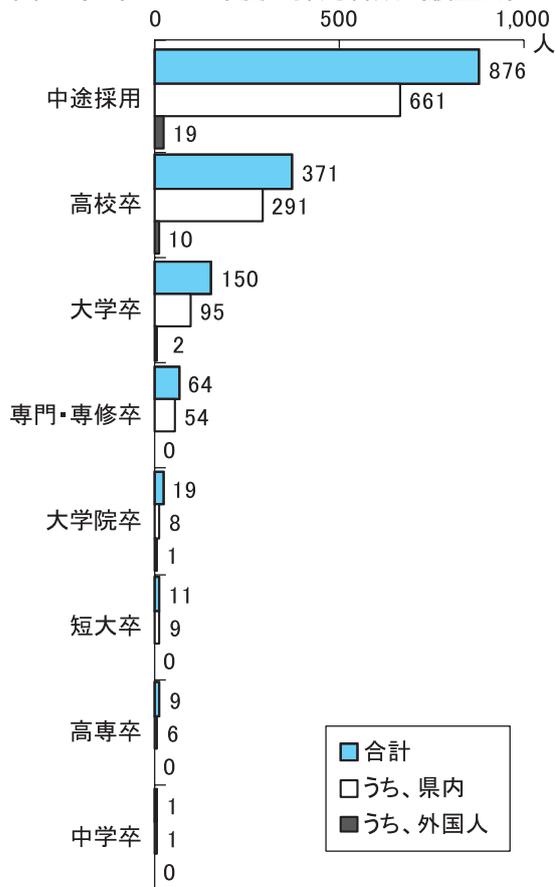
表4. 平成28年度の採用者数（業種別）

単位：人、%

業種	採用者数	全 体	
		うち、県内	うち、外国人
合 計	1,501	1,125 (75.0)	32 (2.1)
製 造 業	554	401 (72.4)	25 (4.5)
建 設 業	233	173 (74.2)	4 (1.7)
卸 小 売 業	234	175 (74.8)	3 (1.3)
サ ー ビ ス 業	480	376 (78.3)	0 (0.0)

（企業数：208社）

図10. 平成28年度の採用者数（履歴別）



（企業数：208社）

今回の調査では、全体の業況判断DIが前期よりやや改善し、夏季賞与も前年並みと回答する企業が多かった。

雇用者の現状は、不足感が依然強く、平成28年度の採用者数も、中途採用の県内出身者が多かった。今後とも、雇用の安定確保のため、官民一体で県内外の人材を取り込む工夫が必要と思われる。

（勝池）

第89回企業動向アンケート結果(業種別)

		<今期見込み>				<来期見通し>			
		好転 増加 (A)	不変 (B)	悪化 減少 (C)	D I (A)-(C)	好転 増加 (A)	不変 (B)	悪化 減少 (C)	D I (A)-(C)
アンケート回答 企業の全般的業況	全 体	22	57	21	1	18	64	18	0
	製 造 業	25	54	21	4	21	62	17	4
	建 設 業	14	66	20	▲ 6	18	70	12	6
	卸 小 売 業	29	46	25	4	16	61	23	▲ 7
	サービス業	18	64	18	0	15	65	20	▲ 5
売上(出荷)高	全 体	25	46	29	▲ 4	20	59	21	▲ 1
	製 造 業	23	53	24	▲ 1	23	58	19	4
	建 設 業	23	46	31	▲ 8	26	54	20	6
	卸 小 売 業	34	32	34	0	18	59	23	▲ 5
	サービス業	18	55	27	▲ 9	13	65	22	▲ 9
経常利益	全 体	24	46	30	▲ 6	17	62	21	▲ 4
	製 造 業	23	50	27	▲ 4	20	60	20	0
	建 設 業	18	45	37	▲ 19	20	60	20	0
	卸 小 売 業	32	38	30	2	16	61	23	▲ 7
	サービス業	22	53	25	▲ 3	11	65	24	▲ 13
		現 状							
		楽 過剰 (A)	普 通 適正 (B)	苦 しい 不足 (C)	D I (A)-(C)				
資金繰り	全 体	24	62	14	10				
	製 造 業	22	61	17	5				
	建 設 業	26	66	8	18				
	卸 小 売 業	24	61	15	9				
	サービス業	24	63	13	11				
設備・店舗等	全 体	5	76	19	▲ 14				
	製 造 業	6	70	24	▲ 18				
	建 設 業	3	88	9	▲ 6				
	卸 小 売 業	8	72	20	▲ 12				
	サービス業	2	78	20	▲ 18				
雇用者数	全 体	5	39	56	▲ 51				
	製 造 業	4	36	60	▲ 56				
	建 設 業	3	35	62	▲ 59				
	卸 小 売 業	5	49	46	▲ 41				
	サービス業	7	37	56	▲ 49				

※回答社数構成比%
D Iは%ポイント